

臨床研究に関する公開情報

岡山医療センターでは、下記の臨床研究に対して「対象となる患者さん」に該当する方へ研究へのご協力をお願いしております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

総排泄腔疾患今後の医療体制

[研究責任者]

独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 小児外科 中原 康雄

[研究の背景]

総排泄腔疾患は、総排泄腔遺残症や総排泄腔外反症に代表され、消化器、泌尿器、生殖器の3領域にまたがる複雑で多彩な病型を呈する。治療には難渋することが少なくなく、現在の小児外科医療においてもなお最良の治療法を模索している段階にある疾患の一つである。また配慮すべき機能は、腎機能、排尿機能、排便機能、生殖器機能、運動器機能と幅広い。当院の総排泄腔疾患治療の現状を検討し、最良の医療体制について考える。

[研究の目的]

当院の総排泄腔疾患治療の現状を検討し、最良の医療体制について考える。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1973年1月以降に当院で診断もしくは治療を受けた総排泄腔疾患の患者

●研究期間

臨床研究審査委員会承認後、実施許可日から随時知見を蓄積して研究を継続します。

●利用するカルテ情報：

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果、手術内容、血液検査結果、排便状況、排尿状況、生殖機能、運動器の状況

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[研究の資金源、利益相反について]

この研究は、研究費は用いず実施されます。しかしこの研究における当院の研究者の利益相反^{*}については、当院の研究利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。

^{*}外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のこと。

[研究の参加について]

この研究実施への参加や途中での参加中止は、あなたの自由な意思で決められます。

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料（血液・組織等の検体）やカルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、この研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

国立病院機構岡山医療センター

小児外科 中原 康雄

電話 086-294-9911 FAX 086-294-9255